

事業者向け放課後等デイサービス評価表（事業所名：あぶれんどこくらきた）

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標、工夫点など
環境・体制整備	①	設備は利用定員に応じて適切であるか	○			子ども1人あたり4㎡以上の床面積を確保、静養や個別療育のためのスペースも設けています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			理学療法士や作業療法士などのセラピスト、児童指導員、保育士、障害福祉サービス経験者を常時3人以上配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			入り口前のスロープ、車いす用トイレ、段差のないフラットなスペース等、身体障害児の利用にも対応できる設備を完備しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			定期的な会議やミーティングを行っています。また休みの職員にも周知できるよう、議事録の回覧も行なっています。
	⑤	アンケート調査を実施して保護者の意見等を把握し、業務改善につなげているか	○			定期的にアンケート調査を実施。また送迎時に保護者との情報交換を行い、職員間で共有して、その都度対応しています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	○			ホームページ上にて年度末に公表しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		利用児童ご家族や外部連携機関の方の意見を業務改善につなげていますが、今後より一層の外部評価を取り入れていきたいと考えています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		重要性の高い研修を優先し、参加しています。また、外部研修等はセラピスト間での情報共有や参加を行っています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、個別支援計画を作成しているか	○			保護者へのアンケート調査や、送迎時の情報収集を行ったうえで、その内容を反映させた計画の立案を行っています。
	⑩	子どもの発達課題に沿った療育（個別リハビリを含む）が提供されているか	○			常に療育の中での観察を通じて評価を行い、課題に沿った訓練の立案・提供を行っています。また、児童の成長過程や課題を日々の連絡帳に記載しています。
	⑪	子どもの持つリスク（身体的、精神的）に十分に配慮した個別療育が行えているか	○			ガイドライン内容を周知し、その都度内容を確認した上で支援内容を設定している。
	⑫	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月ごとのイベントも加味して、集団療育担当の職員で集団プログラムの立案を行っています。
	⑬	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			月の予定表を作成したうえで、様々なプログラムの提供が行えるよう職員間で意見交換・修正しています。
	⑭	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			引き続き感染症対策を行いながら、状況に応じて屋外活動や児童の特性に応じた課題設定・提供を行っている。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	○			計画立案時から個別・集団療育の整合性をもちつつ、日々の子どもの様子に合わせて活動提供の方法を調整しています。
	⑯	支援開始前・終了後に職員間で打ち合わせを行い、支援内容の確認や振り返り内容を職員間で共有しているか	○			支援開始前・終了後に、児の近況等を情報共有し、支援内容の確認・反省を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の活動内容や児童の様子を連絡帳や実施記録に記載し、支援方法についての会議やモニタリング時に活用している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月に1度のモニタリングと計画見直し、必要に応じて会議を実施して支援の見直しを行っています。

	⑭	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	○			状況や特性に応じてプログラムや活動内容を 調整し、基本活動の複数項目を満たせる よう支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑮	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそ の子どもの状況に精通した最もふさわしいものが 参画しているか	○			児童発達支援管理責任者や、子どもの状況 をよく把握している職員が参画していま す。
	⑯	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送 迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に 行っているか	○			学校が企画する連絡会への参加や、連絡 ツールアプリを活用した情報共有を受けて いる。
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ど も園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と 相互理解に努めているか	○			入園決定時に情報共有の機会を作り、子供 の様子や、各支援内容の確認・情報共有を 行っている。
	⑱	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加してい るか			○	必要に応じて参画を検討していきます。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子ど もの発達の状況や課題について共通理解を持って いるか	○			連絡帳や、送迎時の直接的なコミュニケー ションを通じて、情報共有を行っていま す。
	㉓	保護者に対する支援（ペアレントトレーニング 等）を行っているか		○		保護者からの相談・希望に応じて療育の見 学等を行い、その中で必要なアドバイス を行っています。
保護者への説明責任等	㉔	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧 な説明を行っているか	○			契約時や保護者からの質問があった際は丁寧な説明を心がけており、その都度ご理解を いただいています。
	㉕	保護者からの子育ての悩みに対する相談に適切に 応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があった際は必要な助言や支援を行っ ています。
	㉖	保護者会の開催等、保護者同士の連携を支援して いるか			○	今後必要に応じて検討していきたいと思ひ ます。
	㉗	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制 を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、 苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している か	○			苦情担当者を配置し、その都度対応を行っ ています。
	㉘	定期的なホームページ更新等を行い、活動概要や 行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信しているか	○			法人ホームページを定期的に更新し、活動 概要などの発信を行っています。
	㉙	個人情報に十分注意しているか	○			施錠できるロッカーにて厳重に管理してい ます。
	㉚	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしているか	○			それぞれのお子様の特性に配慮し、情報伝 達ツールを選択している。保護者には文章 や写真を活用して情報伝達を行っている。
	㉛	地域に開かれた事業所運営を行っているか	○			月1回の研修会を開催するとともに、地域講 演会へも講師として参加しています。
非常	㉜	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知 しているか		○		各マニュアルを作成していますが、今後は 保護者への周知を行っていきます。
	㉝	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その 他必要な訓練を行っているか		○		定期的に訓練を実施していますが、実施時 期や概要等が保護者様にも伝わるよう検討 していきます。
	㉞	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしているか	○			各研修会に参加後、伝達講習を行い全職員 への周知に努めています。

時 等 の 対 応	③7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、個別支援計画に記載しているか	○			契約時に説明を行い同意書をいただいております。特に不穏傾向のお子様に関しては、事前に拘束の状況などを予測した上で、保護者様に了承を得て、計画書にその内容を記載しています。
	③8	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		医師との連携の機会は限られていますが、保護者からの聞き取り内容を朝礼等で全職員に周知し、個別に対応を行っています。
	③9	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例報告書をファイリングして、いつでも閲覧できるようにしています。

その他